

① 十国峠公園



約1ヘクタールの公園にはソメイヨシノ、ボタン桜600本とツツジなどが植栽されている。公園頂上には木製の展望台があり、眺望の素晴らしさにも定評がある。無料駐車場あり(約30台)。

② 馬力神



馬の供養塔。大正時代に建てられたとされる。

③ 馬頭観世音・馬力神



15メートルほどの近いところに馬頭観世音と馬力神がある。馬頭観世音は江戸時代、馬力神は大正時代に建てられたもの。

④ 如意輪観音



宝暦年間(1751~1764年)に建立されたとみられる。頬に添える手を思惟手(しゆいしゆ)と言い、この観音の特徴とされる。苦しみを打ち砕き、幸せをもたらす観音菩薩として信仰された他、出産や子育てを守る観音菩薩として女性からの信仰を集めていたとされる。

⑤ 湯殿山碑



湯殿山は出羽三山のひとつ。出羽三山は山形県にある湯殿山、月山、羽黒山の総称で、古くから山岳信仰の場として知られ、昔はこのような碑を建ててお参りをした。また、馬場八幡宮の神幸祭のときにここで三日三晩お祭りをしていたと伝えられている。

今回も、4・5月号に引き続き大門地区を歩きます。十国峠公園から南に進み、上大門町北部の見どころを巡りながら、山村都市交流センターを目指します。コース沿いには源氏川の源流が流れ、道中美しい水の音が聞こえます。野の草花や野鳥の鳴声を楽しみながら、歩いてみてはいかがでしょう。



てくてくウォーク 97

大門ハイキングコース* その3

十国峠～山村都市交流センター
▶距離:約3.5km ▶時間:約1時間

⑥ 為我流碑



為我流とは、江戸時代に常陸国に広まり、現在の茨城県と福島県で伝承されている民間武術である。この碑は大正14年に建てられた。

⑦ 二十三夜塔



民間信仰のひとつとして、旧暦23日の夜、地域の主婦たちが月の出を待って、安産祈願や日常生活の情報交換をしたとされる場所。

⑧ 幕末黒羽塾蹟碑



上大門小学校が設立される前、ここに「黒羽塾」という寺子屋のようなところがあった。その存在を後世まで残すため所有者の方がこの碑を建てた。

⑨ 山村都市交流センター



かつてここに上大門小学校があった。上大門小学校は明治6(1873)年頃設立され、昭和54年に菅田小学校と統合し閉校した。